

令和 8 年度  
(2026年度)

沖縄県立芸術大学  
美術工芸学部

入学試験問題

## 実技（事前に制作された作品の提出）（対面入試）

### 【出題内容】

(1)彫刻1点(1～2年前から現在までに制作したものに限る。)  
(2)デッサン  
1～2年前から現在までに描いたデッサン2枚。紙の種類、大きを問わない。

### 【出題意図】

制作における思考力、造形力、発想力、独創性をみる。

## 作品資料・ファイルの提出（対面入試）

### 【出題内容】

作品写真集1冊  
1～2年前から現在までに制作した作品を、A4サイズのクリアファイル1冊にまとめて提出すること。

### 【出題意図】

造形行為への関心と、日頃の制作に対する意欲や取り組みをみる。

## 小論文（対面入試）

### 【出題内容】

テーマ「私の作品について」  
上記のテーマについて800字以内で述べなさい。  
提出した彫刻1点とデッサン2枚や、作品資料・ファイルに掲載した作品についてでも構いません。

### 【出題意図】

基礎的な知識、考察力と文章表現力をみる。

### 【試験時間】

1時間

### 【受験者が持参すべきもの】

筆記用具

## 面接（対面入試）

### 【試験時間】

一人20分程度。  
面接待機中及び面接終了後に作品搬出を行う。

### 【出題意図】

論理的な思考力、コミュニケーション能力、主体的な学習意欲等をみる。

## 小論文（出願時提出）

### 【出題内容】

「将来の芸術はどうあるべきか」

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）手書きで5枚2,000字程度

### 【注意事項】

・タイトルは自分でつけること。

### 【出題意図】

日頃より関心を寄せ愛好する芸術分野や作品が存在することが、芸術学の探究における重要な端緒となることから、本課題により、知識、主体性および意欲を見極めたい。

また、そうした芸術分野および作品の鑑賞経験や知識について、さらにそこから発展させた思考や省察について、他の人にも理解可能な明瞭な言葉で論述できることが芸術学の学生に求められる基礎的素養であることから、本課題により、文章の技能および思考力、判断力、表現力を見極めたい。

## ゼミナール試験（対面入試）

### 【出題内容】

絵画描写にまつわるエピソードや理論を扱った講義を受け、その内容に基づきディスカッションを行う。

### 【試験時間】

2時間

### 【出題意図】

大学入学後の「学問的探究」にスムーズに移行できる資質を備えているかをみる。そのために、大学の講義や演習を模した環境での対話や質疑応答を課す。これらを通じ、思考を深め認識を更新しながら探究を推進する「思考力・判断力・表現力」、および「主体的に学習に取り組む態度」を多面的に評価する。

講義の題材には、日常的な経験に根ざしながらも論理的・批判的思考を要する「描写対象への類似性」をめぐる議論を採用した。

## 口述試験（対面入試）

### 【内容】

小論文やその他志願書類を基に、口述試験を実施する。

## 実技試験（体験授業）（対面入試）

### 【出題内容】

10cm×10cm×10cmの立方体を作り、その上に配布されたカラーシート（必須）と予備のカラーシート（任意）を切り抜き、自由に構成しコラージュしなさい。立方体の展開図の形やのりしろの位置は自由とする。立方体は1～2個制作すること。

また、コンセプトシートに作品のテーマを自由に設定し、作品についてのコンセプトを記入すること。

### 【試験時間】

4時間

### 【受験者が持参すべきもの】

筆記用具

### 【提出するもの】

- ・立方体コラージュ（10cm×10cm×10cm）  
1～2個
- ・コンセプトシート1枚

### 【出題意図】

出題内容から、自由に発想し表現できる能力をみる。独自の発想・表現力、および立方体全方向からの視点を意識し展開することができ、色彩感覚、構成力、制作に取り組む姿勢を含めて総合的に判断する。また、コンセプトシートへ適切な表現で制作意図を説明できる文章力も評価する。

## 面接（対面入試）

### 【試験時間】

一人20分程度。

面接内で実技試験のプレゼンテーションを行う。

### 【出題意図】

工芸専攻で学ぶ意義を理解し、学習意欲等がある事、又コミュニケーション能力を備え、制作した作品の意図を的確に説明できることを観点にしている。

## 素描（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

透明ビニール傘(1本)、フェイスタオル(1枚)、トイレットペーパー（1個）、玉ねぎ(2個)を机上で組み合わせ素描しなさい。

- \*透明ビニール傘のメーカーは問わない。
- \*フェイスタオルの色や柄、メーカーは問わない。
- \*トイレットペーパーの色は白系統とする。メーカーは問わない。

### 【用紙及び画材】

木炭紙に木炭、又は画用紙に鉛筆。

### 【作品サイズ】

木炭紙は木炭紙サイズ。画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はフィキサチーフで定着し、画用紙の場合はパネルから切り離さずに梱包し提出）

### 【出題意図】

それぞれ形態・質感が異なるモチーフについて、どのように構想を立て、画面上で作品化することができるかを問う出題である。大きさが異なるモチーフに対しての「構成力」、色彩・質感・立体感などを把握する「観察力」、基礎的な「描写力」、また、モチーフの存在感を素描として作品化する「表現力」を評価する。

## 着彩（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

「自画像を自由に着彩しなさい。」

### 【用紙及び画材】

キャンバスに油彩用具又はアクリル用具、画用紙にアクリル用具又は水彩用具。

### 【作品サイズ】

キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出）

### 【出題意図】

人体の骨格、筋肉、皮膚の構造と作品画面における形態、色彩、質感、陰影、遠近、空間をどのように認識し、人体の存在感を着彩画として作品化することができるかを問う出題である。構図、形態、色彩、マチエール、構成の要素と観察力、着彩力、構成力を確認し、基礎的な描写表現力を評価する。

## 小論文（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

「あなたの好きな絵画作品を2点取り上げて論じなさい。」

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで800字以内。

### 【出題意図】

- ・志願者の芸術、美術に対する知識、関心、見識を判断するため。
- ・自らがとりあげた作品に対して、深く考察する姿勢や本人なりの解釈などを通して、観察力や探求心をみる。
- ・とりあげた作品を軸に自らの考えを述べることで、専門性への取り組みや将来への展開力をみる。

## 面接（遠隔入試／オンライン型）

課題作品、作品資料、小論文及び出願書類を基に面接試験を実施する。

## 素描（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

「素描として、モチーフ：手を細密描写しなさい。」

### 【用紙及び画材】

画用紙に鉛筆。

### 【作品サイズ】

木炭紙サイズまたはF15号パネルに水張り。画面の縦・横は自由。（提出時はフィキサチーフで定着しパネルから切り離さずに梱包し提出）

### 【出題意図】

- ・素描としてモチーフの各自の手の構造や立体感と光の捉え方などを図ると共に、各自の画面での構成能力と鉛筆素描の描写力を見る。
- ・細密描写としての各自の手の表情や腕の表情と共に、各自の皮膚や爪や皺などの細部の質感等の触覚的な表現力を見る。
- ・細密画の写実感覚と細密描写による各自の手の素描の新鮮な生命感や存在感などと共に、各自の素描全体の完成度を見る。

## 着彩（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

「自画像を自由に着色写生しなさい。」

### 【用紙及び画材】

画用紙に水彩用具。

### 【作品サイズ】

木炭紙サイズまたはF15号パネルに水張り。画面の縦・横は自由。（提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出）

### 【出題意図】

- ・着色写生による人物表現として、各自の顔や髪などの自画像の色彩感覚や構成感覚と共に各自の表現力と描写力を見る。
- ・自画像として各自の肖像的な写実力と共に、各自の空間感覚と構想意図や創作力を見る。
- ・各自の人物画としての創造性や人物の生命感と共に、各自の自画像の全体の独自性や作品の完成度を見る。

## 小論文（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

「あなたの好きな絵画作品を2点取り上げて論じなさい。」

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで800字以内。

### 【出題意図】

- ・志願者の芸術、美術に対する知識、関心、見識を判断するため。
- ・自らがとりあげた作品に対して、深く考察する姿勢や本人なりの解釈などを通して、観察力や探求心をみる。
- ・とりあげた作品を軸に自らの考えを述べることで、専門性への取り組みや将来への展開力をみる。

## 面接（遠隔入試／オンライン型）

実技作品、作品資料、出願書類を基に面接試験を実施する。

## 小論文（遠隔入試/提出型）

---

### 【出題内容】

「任意の作品を一つ選び、それについて論じなさい。」

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）手書きで7枚2,800字以内

### 【注意事項】

- ・タイトルは自分でつけること。
- ・執筆の際に参照した紙媒体の書籍・文献を一つ以上記すること。

### 【出題意図】

日頃より関心を寄せ愛好する芸術分野や作品が存在することが、芸術学の探究における重要な端緒となることから、本課題により、知識、主体性および意欲を見極めたい。

また、そうした芸術分野および作品の鑑賞経験や知識について、さらにそこから発展させた思考や省察について、他の人にも理解可能な明瞭な言葉で論述できることが芸術学の学生に求められる基礎的素養であることから、本課題により、文章の技能および思考力、判断力、表現力を見極めたい。

## 口述試験（遠隔入試/リアルタイム型）

---

### 【内容】

小論文を基に口述試験を実施する。

## 面接（遠隔入試/リアルタイム型）

---

### 【内容】

出願書類を基に面接試験を実施する。

## デッサン（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

食材1点・キッチン用品 1点・タオル類 1点、以上3点のモチーフ（いずれも自分で選んだもの）を自由に配置して鉛筆デッサンした作品。

### 【出題意図】

デザイン分野全般において必要であり基盤となる、描写力を見る。これらのモチーフから、形状を立体的かつ正確に描く力・素材の質感や色を描き分ける力・モチーフ同士の関係性を理解し空間を描く力を見る。また、表現力を総合的に判断する。

### 【作品サイズ】

B3サイズの画用紙を1枚提出すること。

※4つ折にして作品資料と共に提出すること。（返却しない）

## 小論文（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

「あなたが改善したいと思う日常のデザインについて述べなさい。」

### 【出題意図】

デザインについて既に理解している事象や考え方を聞くことによって、デザイン学習の姿勢や意欲、適応能力をみる。

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）手書きで1,200字以内

※出願書類と一緒に提出すること。（返却しない）

## 面接（遠隔入試/オンライン型）

### 【内容】

課題作品・作品集、及び小論文を基に面接試験を実施する。

## その他（試験科目外の提出物）

### 【内容】

作品資料：デッサン以外に、面接時の参考作品として、受験者が3年以内に制作したもの（3点以上・10点以内、立体作品、サイズの大きい作品は写真にすること）をA4のクリアファイル1冊にまとめた作品集（氏名を明記する）。

※課題作品と共に提出すること。（返却しない）

### 【出題意図】

日頃から行なっている活動のうち、デザインそのものへの興味や素養、情熱などを総合的に判断する。

## 鉛筆デッサン（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

ペットボトル（500ml銘柄自由）・野菜または果物、以上2点のモチーフを自由に配置して鉛筆デッサンした作品。  
※出願時に送付すること。3枚提出すること。  
（返却しない）

### 【作品サイズ】

A3サイズの画用紙（水張りパネル不可）

### 【出題意図】

素描については、モチーフ2点を出題し、自由に配置しての鉛筆デッサンを課している。（ただし、モチーフの加工は不可）出題モチーフは、自然物や人工物などのバランスを考慮している。受験生に望むことは、それらモチーフの質感や特徴を観察し、構造を理解できる思考力や鉛筆で描き分ける描写力の研鑽で、これらは入学後の課題制作、研究制作でも必要な力である。さらに、画面構成力と共に、モチーフに対する印象などの表現力も合格基準の観点にしている。

## 作品ファイル・収集資料（遠隔入試／提出型）

### 【出題内容】

これまでに制作した作品や収集資料などのあなたの美意識をアピールできるもの。  
※出願時に郵送等にて送付すること。（持ち込み不可）  
試験終了後に返却する。

### 【作品サイズ】

A3サイズのファイル1冊にまとめる。

### 【出題意図】

作品ファイルについては、高等学校在学または受験前に制作した素描・色彩構成・絵画作品・立体作品・写真等、様々な素材を用いた表現作品により、意欲、資質、能力を知り、総合的な観察力、思考力、表現力などを判断する。収集資料については、何に興味関心を持ち、どのような表現に魅力を感じているかをみる事により、学生の個性や美意識を多面的に評価する。

## 小論文（遠隔入試／提出型）

### 【内容】

あなたが作品制作をする際にテーマにしたいと思う「美しい自然（動植物・風景・現象など）」について述べなさい。

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）手書きで2,000字以内

### 【出題意図】

「美しい自然（動植物・風景・現象など）」

課題の意図をくみとり、「工芸」、「美術」に関する興味、関心、意識も含め、独自の持論を展開する思考力、文章の構成力を評価の観点にしている。

## 面接（遠隔入試／オンライン型）

### 【内容】

小論文や調査書、推薦書等を基に面接を実施する。また、作品ファイルや収集資料等の中から、自分がアピールしたい主要な物を選び、それを基にプレゼンテーションを実施する。

### 【出題意図】

工芸専攻で学ぶ意義を理解し、学習意欲等があること、又コミュニケーション能力を備え、制作した作品の意図を的確に説明できることを観点にしている。

## 素描（対面入試）

### 【出題内容】

「配置されたモチーフを素描しなさい。」

### 【試験時間】

6時間

### 【モチーフ】

- ・折りたたみ机 1台
- ・タオル 2枚
- ・たまご 6個
- ・ステンレスボール 1個
- ・ペットボトル 4本

### 【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することは可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意する。
- ・出題に関する質問は受け付けません。

### 【出題意図】

それぞれ形態・質感が異なるモチーフについて、どのように構想を立て、画面上で作品化することができるかを問う出題である。縦長のモチーフに対しての「構図」の考察、色彩・質感・立体感などを把握する「観察力」や「描写力」、また、モチーフの存在感を素描として作品化する「表現力」を評価する。

### 【モチーフ参考画像】



## 着色（対面入試）

### 【出題内容】

「モチーフを机上で自由に配置し着色しなさい。」

### 【試験時間】

9時間

### 【モチーフ】

- ・ティッシュボックス 1個
- ・紙袋 1個
- ・玉ねぎ 2個
- ・にんじん 1本
- ・ペットボトル 1本

### 【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けません。

### 【出題意図】

形態、色彩、質感の異なる複数のモチーフを如何に机上で構成し、作品画面において形態、色彩、質感、陰影、遠近、空間をどのように認識し、モチーフの存在感を着色画として作品化することができるかを問う出題である。構図、形態、色彩、マチエール、構成の要素と観察力、着色力、構成力を判断し、基礎的な描写表現力を評価する。

### 【モチーフ参考画像】



## 面接（対面入試）

実技作品、出願書類を基に面接試験を実施する。

## 素描（対面入試）

### 【出題内容】

「モチーフを素描しなさい。」

### 【試験時間】

6時間

### 【モチーフ】

- ・植物(オオタニワタリ) 1組
- ・白菜(半切れ) 2つ
- ・木製台 2台
- ・ガラスボール 1個
- ・紙 1枚
- ・貝殻、ガラス片、石 1式
- ・黒ローブ 1本

### 【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けない。

### 【出題意図】

- ・モチーフのなかでも固有色の違うもの、質感の違うものを出题することで、色の淡いものもしっかりと描き込めるか、色の濃いものは質感や表現が同じにならないか、といった描写力と全体感を確認するため。
- ・モチーフの主従関係を把握し、画面内でバランスの良い構図をとることができるか、手前から奥、左右の広がり、そのなかでのメインの存在感を軸にした空間を出すことができるか確認するため。

### 【モチーフ参考画像】



## 着彩（対面入試）

### 【出題内容】

「モチーフを自由に配置し、着色写生しなさい。」

### 【試験時間】

9時間

### 【モチーフ】

- ・ペットボトル(カルピス) 1体
- ・トイレットペーパー 2つ
- ・紙コップ(中に白米が入っている)2つ
- ・陶器の皿(中に玄米が入っている)1つ
- ・マスク 1つ

### 【留意点】

- ・制作用のイーゼルの高さ及び方向を調整することが可能です。調整の際は、他の受験生の迷惑にならないように注意すること。
- ・出題に関する質問は受け付けない。

### 【出題意図】

- ・自然物と人工物をしっかりと観察し、絵具でモチーフの質感の違い、存在感などを表現することができるか。
- ・似たような固有色の中から違いを見出し、質感や陰影を含めた差を観察し、表現できるか。
- ・画面内に光の方向を設定し、しっかりと画面全体の色彩バランスを把握し構成することができるか、光の印象から空間的な広がりを捉え、空気感、やわらかな光を表現し、雰囲気ある画面に仕上げるることができるか。

### 【モチーフ参考画像】



## 面接（対面入試）

実技作品、出願書類を基に面接試験を実施する。

## 素描（対面入試）

### 【出題内容】

石膏像「ジョルジョ」を描きなさい。  
※木炭又は鉛筆（併用可）

### 【試験時間】

6時間

### 【受験者が持参すべき用具】

- ・素描用具一式（計り具は使用可）
- ・下敷用紙（未使用紙）
- ・木炭は本学で用意する。

### 【出題意図】

対象の形態を把握する「観察力」と、画面上で確かな存在感を表現する基礎的な「描写力」をみる。

### 【モチーフ参考画像】



## 塑造（対面入試）

### 【出題内容】

パイナップルとバナナをモチーフとして、塑造で制作しなさい。  
※配布されたバナナは、皮をむいても構いませんが、それ以外の加工はしないこと。

### 【試験時間】

6時間

### 【受験者が持参すべき用具】

- ・鉛筆、消具
- ・塑造用具は本学で用意する。

### 【出題意図】

対象の内に彫刻的な量塊と動勢を捉える「観察力」と、全体と細部の調和をとり量感豊かに表現する基礎的な「造形力」をみる。

### 【モチーフ参考画像】



## 面接（対面入試）

### 【試験時間】

一人20分程度

### 【受験者が持参すべきもの】

- ・1年以内に描いた素描5枚  
（紙の種類、大小を問わない。）
- ・その他作品資料があれば持参する。

### 【出題意図】

論理的な思考力、コミュニケーション能力、主体的な学習意欲等をみる。

## 素描（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

ガラスのコップを1つ、自由に配置し、鉛筆と消しゴムの  
みを使って描きなさい。

### 【出題意図】

- ・基本的なデッサン力を問う。
- ・画面構成、空間およびモチーフの形、質感への理解と表現力を持っているかを見る。

### 【受験生が準備すべき道具など】

- ・鉛筆
- ・消しゴム

### 【注意事項】

- ・イラストボードの縦、横は自由とする。
- ・モチーフのコップは各自で用意する。

## 小論文（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

問1）別紙の文章の論旨を自分なりの言葉に置き換えてなるべくわかりやすく説明しなさい。さらに、それをふまえたうえで「ミュージアム」について自由に論じなさい。

（出典：松宮秀治『文明と文化の思想』白水社、2014年、102-104頁）

問2）芸術作品の中には、古い美術（絵画、彫刻、工芸、建築）や、神話・小説などの古典文学をもとにしたり、着想を得たりして制作されている作品があります。そのような芸術作品（絵画、彫刻、工芸、建築のほか、映画、アニメ、マンガを含む。ただし、広告・ゲーム・キャラクターは除く）を1つ取り上げ、もともなった作品についても触れながら論述しなさい。取り上げる作品の時代は問わない。

### 【出題意図】

問1は松宮秀治『文明と文化の思想』の一部を読んで問題に解答するもの。歴史や思想の面から制度的に芸術を捉える議論で高校生には比較的難解な記述である。論旨をまとめる作業で文章の理解力を確認するとともに、それに対する自らの見解を表現する力をみる。

問2は、過去の美術や古典文学をモチーフとする芸術作品について、適切にテーマを設定し、効果的な作例を選び、合理的に自分の意見を論述できるかをみる問題である。日頃から美術に関する情報を収集し考える、実物が複製かを問わず作品を鑑賞する経験を積む、作品の成立事情・背景について意識する、類似作品について比較分析する視点を持つ、自分の考えを的確な言葉と論理で説明する力をつけることが望まれる。

## 面接（対面入試）

出願書類などを基に面接試験を実施する。

### 【試験時間】

一人20分程度

## 素描（対面入試）

### 【出題内容】

与えられたモチーフすべてを自由に構成し、描写しなさい。

### 【試験時間】

6時間

### 【モチーフ（材料）】

- ・穴あきお玉
  - ・ボディタオル
  - ・蓋付き保存容器
- 想定：りんご

### 【提出物】

問題用紙1枚、画用紙(B3)1枚、下書き用紙(A3)2枚

### 【注意事項】

- ① 想定モチーフはすべて画面内に自由に配置すること。
- ② 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。
- ③ 受験番号記入欄のある面を表とする。
- ④ モチーフは台紙からはみ出してもよい。

### 【出題意図】

デザイン分野全般において必要であり基盤となる描写力をみる。与えられたモチーフの全体の形状から細部まで、立体的かつ正確に描く力・素材の質感や色を描き分ける力・モチーフの関係性を理解し、空間を描く力をみる。また、制作の一部に想定モチーフ(形状・質感等を指定)による構成力や発想力を含めて総合的に判断する。

### 【モチーフ参考画像】



## 色彩構成（対面入試）

### 【出題内容】

与えられたモチーフをもとに色彩構成しなさい。  
また、制作意図をA4答案用紙に100文字以内で簡潔に説明しなさい。

### 【試験時間】

3時間

### 【各自で用意するもの】

鉛筆、消しゴム、筆、筆洗、パレット(絵具皿)、下敷き

### 【提出物】

- ・問題用紙・答案用紙・イラストボード(A4)1枚
- ・下書き用紙(A4)5枚・モチーフ

### 【注意事項】

- ① 以下の与えられた4色絵の具で着彩すること。  
マゼンタ(赤紫)、イエロー(黄)、シアン(青)、ホワイト(白)
- ② アイディアスケッチは準備されたA4の下書き用紙を使用すること。
- ③ 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。
- ④ 作品の天地方向を受験番号の左横に、↑(天)で明記すること。
- ⑤ 受験番号記入欄のある面を裏とする。

### 【出題意図】

与えられた物(モチーフ)を基に、自由な発想力と視覚表現できる制作力をみる。一般的な彩色用具であるアクリル絵の具を使って、構図や配色で意図する平面上における構成力をみる。また、適切な表現で制作意図を説明できる文章力も評価する。

### 【モチーフ参考画像】



## 立体構成（対面入試）

### 【出題内容】

「交差」をテーマに自由に発想し、下記の材料を用いて立体物を造形・構成してその立体物をA3イラストレーションボード（台紙）上で自立させなさい。

また、制作意図をA4答案用紙に100文字以内で簡潔に説明しなさい。

### 【出題意図】

抽象的なテーマから、自由に発想し立体で表現できる力をみる。アイデアの新規性と発想力を踏まえた表現力、および立体として自立する構造を理解する力、全方向からの視点を意識し美しくまとめることができる構成力を含めて総合的に判断する。

### 【試験時間】

3時間

### 【各自で用意するもの】

鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、コンパス

### 【提出物】

- ・ A3イラストレーションボード(台紙)上に配置した立体物
- ・ 答案用紙
- ・ A4下書き用紙5枚

### 【注意事項】

- ① 立体物はケント紙で制作すること。
- ② 立体物には線描き、着色はしないこと。
- ③ ケント紙は自由に加工して良いものとする。
- ④ マスキングテープは仮止め用として使い、構成要素としないこと。
- ⑤ 作品正面の右に、「受験番号」「氏名」をA3ケント紙上に明記すること。

## 面接（対面入試）

### 【内容】

実技作品、出願書類を基に面接試験を実施する。

## 素描（遠隔入試/提出型）

## 【出題内容】

ペットボトル、レモン、玉ねぎ、フェイスタオルを机上に自由に配置し、B3画用紙に鉛筆デッサンしなさい。

## 【モチーフ】

1. ペットボトル（コカ・コーラ500ml、未開封）1本
2. レモン（品種サイズ自由）1個
3. 玉ねぎ（皮付き、葉なしの一般的なものとする。  
サイズ自由）1個
4. フェイスタオル（白無地、素材自由）1枚  
\*約80cm×33cm

## 【各自で用意するもの】

- ・モチーフ（ペットボトル、レモン、玉ねぎ、フェイスタオル）
- ・一般的な鉛筆、消しゴム
- ・一般的なB3画用紙

## 【提出するもの】

B3画用紙に鉛筆デッサンした素描1点

## 【注意事項】

- ・モチーフは全て描き、加工しないこと。
- ・画用紙はヨコ位置とする。
- ・裏面右上に正しく、前期日程及び氏名を明記すること。
- ・制作時間は任意とする。

## 【出題意図】

素描については、モチーフ4～5点を出題し、自由に配置しての鉛筆デッサンを課している。（ただし、モチーフの加工は不可）出題モチーフは、自然物や人工物などのバランスを考慮している。受験生に望むことは、モチーフの質感や特徴を観察し構造を理解できる思考力や鉛筆で描き分ける描写力の研鑽で、これらは入学後の課題制作、研究制作でも必要な力である。さらに、画面構成力と共に、モチーフに対する印象などの表現力も合格基準の観点にしている。

## 色彩構成（遠隔入試/提出型）

## 【出題内容】

レモン、鉛筆を使い、B3ケント紙又は画用紙に自由に色彩構成しなさい。

## 【モチーフ】

1. レモン 1個
2. 鉛筆

## 【各自で用意するもの】

- ・モチーフ（レモン、鉛筆）
- ・一般的な絵の具、鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、カッターナイフ、コンパス、筆、筆洗、パレット（絵皿）、雑巾、水差し（スポイト）
- ・一般的な B3 ケント紙又は画用紙

## 【提出するもの】

B3 ケント紙又は画用紙に絵の具で着色した 色彩構成 1 点

## 【注意事項】

- ・レモン（品種、サイズは自由である。）1個
- ・鉛筆（木製。形状やサイズ、色は自由である。）
- ・それぞれのモチーフの使用法や使用回数は自由である。
- ・ケント紙又は画用紙はヨコ位置とする。
- ・裏面に色彩構成の上下が分かるように矢印（↑）で構成の上を明記すること。
- ・裏面右上に正しく、前期日程及び氏名を明記すること。
- ・制作時間は任意とする。

## 【出題意図】

色彩構成については、モチーフ2～3点程度を出題し、自然物や人工物などのバランスを考慮している。受験生に望むことは、モチーフの質感や特徴を観察し、構造を理解できる思考力や描写力の研鑽で、これらは入学後の課題制作、研究制作でも必要な力である。さらに、画面を美的に構成する構合力、効果的に着彩しているかなどの色彩感覚、モチーフに対する印象から受ける独自の発想・表現力を合格基準の観点にしている。

## 面接（対面入試・プレゼンテーションを含む）

### 【出題内容】

- ・面接は調査書を基に実施する。
- ・プレゼンテーションは実技試験で制作した素描及び色彩構成を基に実施する。

### 【出題意図】

工芸専攻で学ぶ意義を理解し、学習意欲等があること、又コミュニケーション能力を備え、制作した作品の意図を的確に説明できるかを観点としている。

## 着彩（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

「下記のモチーフを机上で自由に配置し着彩しなさい。」

モチーフ

- ・リンゴ 1個
- ・レモン 1個
- ・ピーマン 1個
- ・白菜（1/4カット） 1個
- ・ガラスコップ（透明） 2個

### 【留意点】

- ・モチーフは各自で準備する。
- ・出題に関する質問は受け付けない。

### 【作品サイズ】

キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出）

### 【出題意図】

形態、色彩、質感の異なる複数のモチーフをどのように机上で構成し、また、作品画面において形態、色彩、質感、陰影、遠近、空間をどのように認識し、モチーフの存在感を着彩画として作品化することができるかを問う出題である。構図、形態、色彩、マチエール、構成の要素と観察力、着彩力、構成力を確認し、基礎的な描写表現力を評価する。

## 小論文（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

「海について、あなたのエピソードを交え、論じなさい。」

### 【文字数】

400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで800字以内。

### 【留意点】

出題に関する質問は受け付けない。

### 【出題意図】

海という根源的かつ多様なとらえ方ができる存在に対して、自身の知識を活かしながら独創的な着眼点を持ち得るか。そしてエピソードを交えながら、どのように解像度高く表現できるかを見る。

## 面接（遠隔入試/オンライン型）

実技作品、作品資料、出願書類を基に面接試験を実施する。

## 着彩（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

「任意の室内風景と自分を構成して、着色写生しなさい。画面上に必ず手を入れること。」

### 【留意点】

出題に関する質問は受け付けない。

### 【作品サイズ】

木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。  
（※提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出）

### 【出題意図】

- ・自分と手を着色写生することで、各自の色彩感覚と描写力を見る。
- ・任意の室内風景を加えることで、各自の空間感や構成力を見る。
- ・出題からの発想力や創造性、そこからの作品全体の完成度を見る。

## 小論文（遠隔入試/提出型）

### 【出題内容】

「海について、あなたのエピソードを交え、論じなさい。」

### 【文字数】

・400字詰め原稿用紙（B4判・縦書）に手書きで800字以内。

### 【留意点】

出題に関する質問は受け付けない。

### 【出題意図】

海という根源的かつ多様なとらえ方ができる存在に対して、自身の知識を活かしながら独創的な着眼点を持ち得るか。そしてエピソードを交えながら、どのように解像度高く表現できるかを見る。

## 面接（遠隔入試/オンライン型）

実技作品、作品資料、出願書類を基に面接試験を実施する。